

札幌社保協 FAXニュース

2011年 9月16日(金)
 社保協事務局 発行
 TEL823-0867 Fax821-3701
 E-mail:s-syaho@kin-ikyo.or.jp
 http://www.sapporo-syahokyo.jp/

国保・介護・後期
 高齢者医療110番は、
 9月29日(木)です

総合事業の導入をしないで 特養ホームの待機者解消 次期保険料を引き上げないで

介護の陳情を提出

今年6月に介護保険法が改定されたため、この間社保協では市や道との懇談などを行ってきましたが、今後は自治体の姿勢がカギとなるため、9/22～の市議会に向けて陳情を提出しました。陳情項目は次の3点です

1. 介護予防・日常生活支援総合事業の導入は行わず、現行介護保険サービスの充実を図ってください。
2. 特別養護老人ホーム待機者の1日も早い解消を図ってください。
3. 次期介護保険料を引き上げないでください。

9月9日の昼に、斉藤札幌社保協事務局長と勤医協在宅の4人のヘルパーさんが市議会各会派へ陳情の説明と要請に回り、その後議会事務局へ陳情書を提出しました。今後、議会の厚生委員会で審議をされる予定です。



議会事務局へ陳情書を提出する、勤医協在宅のヘルパーのみなさん

※「日常生活支援総合事業」とは、今回の法改定で自治体の判断で導入できるとされたものです。介護認定の低い「要支援」の人を保険サービスからはずしていくことを狙いにしています。介護サービスを見守り、食事の配食など一般高齢者対策の事業に解消してしまうものです。現在要支援の人でも訪問介護（ヘルパー）や通所サービスを利用できますが、この事業に振り分けられると介護のサービスが使えなくなります。

SOSネット街頭相談会 多い高齢者の相談



9/13、SOSネットワーク北海道の10回目の街頭相談会が大通公園西10丁目で開かれ、27人から生活・労働・法律・医療・住宅など35件の相談がありました。

労働相談が少なかった一方で、生活や医療相談に70歳代の相談者が目立ちました。いずれの方も年金が低く、生活が元々かなり厳しかったのが実態です。70歳過ぎてもパチンコ店で働いていた方や、今も清掃のパートで働いて何とか生活をしのいでいるという人、貸倉庫の事業で収入が無くなったという方もいました。

若者の雇用の深刻さと同時に、従来から貧しい高齢者の実態が改めて見えた相談会でした。

雇用と社会保障を守れ！ 札幌地区労連定期大会

札幌地区労連第23回定期大会が8/28に開催されました。大会では①大企業の雇用・賃金破壊跳ね返すディーセントワーク運動、②原発ゼロへのたたかい、③軍事費削って暮らし、福祉、社会保障の充実めざすたたかい、④憲法を守り生かし、基地も核兵器もない日本へ、⑤組織の拡大・強化をめざし、全力をあげる、2011年度方針を確認しました。

大会では赤坂正信議長、木村俊二事務局長の再選など、新役員を選出し、札幌社保協斉藤事務局長が連帯のあいさつをしました。

